

# 府立高等職業技術専門校再編基本構想 概念図

府立高等職業技術専門校(松原・堺・守口・東淀川・芦原・東大阪・夕陽丘校)の現状

## 求職者訓練

訓練科目・定員の設定

44科目 1,440名定員

機械・金属系 14科目 建築系 13科目

電気(子)・通信系 5科目 事務系 6科目

その他 6科目

訓練対象者・期間の設定

	2年制	1年制	6月制
15歳以上の求職者	5科目 280名	12科目 250名	6科目 360名
18歳以上の求職者	2科目 80名	17科目 390名	
中高年離職者			2科目 80名

## 在職者訓練

レディメイド講座

130コース 2,475人(14年度)

機械・金属系 建築系

電気・電子・通信系 事務系等

オーダーメイド講座

57コース 1,444人(14年度)

就職率の状況

11年度 75.6%

12年度 75.6%

13年度 82.9%

施設・設備の状況

建築年次

松原校 S44

堺校 S36

守口校 S40

東淀川校 S39

## 社会経済情勢の変化

経済の停滞

厳しい雇用情勢

少子高齢化の進展

民間における教育訓練の拡大

雇用施策における地方分権の進展

## 産業施策と労働施策の一体的な展開

産業構造の転換

産業クラスターの形成

北大阪 ライフサイエンス拠点 東大阪 ものづくり支援拠点

南大阪 ハイテク拠点

企業・労働者のニーズ

大阪府の財政状況

## 技術専門校の将来像

個々のニーズに応じた特色ある技術専門校

中高年離職者の再就職を支援する技術専門校

若いものづくり技能者を養成する技術専門校

産業の振興を支える人材を育てる技術専門校

働く人々のキャリア形成を支援する技術専門校

## 指導体制の充実

指導員配置基準の見直しと外部講師の積極的な活用

教科担任制の実施

職業訓練指導員の資質の向上

相談機能・就職支援機能の充実・強化

## 地域との関係

地域の施設との連携  
・機構立の施設との連携  
・高度・専門教育機関や研究・研修機関との連携

地域に開かれた技術専門校  
・民間支援機能の充実

## 再編の基本的な考え方

### 訓練に係わる諸項目

訓練科目の再編

・7校全体の訓練科目の抜本的な再編

・産業クラスター構想

を踏まえた訓練の実施

短期訓練の充実

・6月訓練の拡大

訓練定員の拡大

・増大する訓練ニーズ

の拡大に応えた訓練

機会の確保

少子化や雇用失業

情勢を踏まえた訓練対象者の設定

・中高年離職者等の再

就職支援

・在職者訓練の拡充

就職困難者等への

職業能力開発

・地域就労支援事業との

連携強化

受益者負担の適正

化

## 再編後のすがた

堺校

松原校

東淀川校

守口校

芦原校

東大阪校

夕陽丘校

14年度末廃止

訓練科目の見直し・再編成

17年度末廃止予定

18年度開校予定 **新設校A** (テクノステージ和泉)

20年度以降開校 **新設校B** (北部)

芦原校

東大阪校

夕陽丘校

特色ある技術専門校の構築